

月 日	担当館名	電 話	担当者
10月 3日	県立近代美術館 文化の森企画広報室	tel: 088-668-1088 fax: 088-668-7198	江川佳秀 竹内利夫

特別展「西洋美術との出会い 徳島の4人」 の開催について

趣旨

徳島県立近代美術館では、特別展「西洋美術との出会い 徳島の4人 原鵬雲、井上辨次郎、守住貫魚、守住勇魚」を開催することとなりました。

幕末から明治にかけて、西洋的な写実表現を試みる画家が、各地に続々と登場しました。日本美術における近代の始まりです。本展では、この時代に活動した、徳島の4人をご紹介します。いずれも、いち早く西洋絵画に接近し、西洋の写実表現を取り入れようとした画家たちです。東西の文化が出会った混沌とした世相を背景に描かれた不思議な作品たちは、伝統絵画とも、洋画ともつかない不思議な雰囲気漂わせています。西洋美術に対する、日本人の驚きや憧れが滲んでいるかのようです。近代美術草創期の裾野の広がりをご覧くださいと思います。

展覧会概要

- 名称** 西洋美術との出会い 徳島の4人
原鵬雲、井上辨次郎、守住貫魚、守住勇魚
- 会期** 平成25年10月5日[土]－12月1日[日] 開館時間:午前9時30分－午後5時
- 会場** 徳島県立近代美術館 展示室3
(〒770-8070 徳島市八万町向寺山 <http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/>)
- 主催** 徳島県立近代美術館／徳島新聞社／四国放送／徳島県民文化祭開催委員会
後援 NHK 徳島放送局／エフエム徳島／徳島県文化振興財団／明治美術学会
※この展覧会は宝くじの収益金の一部が使われています
- 休館日** 月曜日、10月15日[火]、11月5日[火] *10月14日と11月4日は開館します。
- 観覧料** 一般 600[480]円／高・大生 450[360]円／小・中生 300[240]円
[]内は20名以上の団体料金です。高齢者(65歳以上)は観覧料が半額。障がい者と介助者1名は無料になります。小・中・高生は土・日・祝日は無料です。11月1日から7日は「とくしま教育の日事業」につき小・中・高生は無料です。特別展の観覧料で所蔵作品展もご覧いただけます。

出展作家

原 鵬雲(はら ほううん) 1835(天保6)年～1879(明治12)年

1862(文久2)年幕府遣欧使節団に随行し、ヨーロッパ諸国をまわり、各地で西洋絵画を目のあたりにしました。帰国後は油画(油絵)を学び、徳島藩校や広島師範学校で洋画を教えました。日本で最初に西洋絵画の実物を目にした絵師であり、日本洋画草創期の一人です。

井上辨次郎(いのうえ べんじろう) 1860(万延元)～1877(明治10)

1873(明治6)年イギリスに留学し、中等教育を受けるかたわら洋画を学びました。肺結核のため

め 1876(明治9)年帰国、翌年 18 歳で没。日本最初期の美術留学生。当時の日本人としては最高水準のデッサン力を身につけました。

守住貫魚(もりずみ つらな) 1809(文化6)年～1892(明治25)年

徳島藩御用絵師。維新後は宮内省の帝室技芸員に選ばれました。幕末期のやまと絵を代表する絵師です。しかし、かたわらでは西洋の文物や風俗に強い関心を示し、西洋の風俗や文物を描いた画稿や、欧米の印刷物の模写を残しています。

守住勇魚(もりずみ いさな) 1854(安政元)～1927(昭和2)年

守住貫魚の次男。家法の住吉派を嗣ぐべき立場にありましたが、父守住貫魚や、おそらく原鵬雲の感化もあって洋画を志し、維新後上京して彰枝堂に学び、次いで明治政府が開設した工部美術学校で洋画を学びました。明治初期洋画の典型的な一人です。

関連事業

○記念シンポジウム「幕末明治の地域社会は西洋美術をどう受け容れたのか」

司会:河上眞理(京都造形芸術大学准教授) パネリスト:金子一夫(茨城大学教授)、田中修二(大分大学准教授)、江川佳秀(徳島県立近代美術館学芸調査課長)

10月5日(土)午後2時～5時／徳島県立二十一世紀館多目的活動室／申込不要、参加無料 *一般の方も自由に聴講していただけます。

主催:徳島県立近代美術館、明治美術学会

○特別展ツアー[展示解説]

講師:江川佳秀(学芸調査課長)

10月20日(日)、11月17日(日)、11月24日(日)いずれも午後2時～3時／展覧会場／申込不要、要観覧券

○身近な美術史シリーズ「絵師から画家へ」

講師:江川佳秀(学芸調査課長)

11月4日(月・休)午後2時～3時30分／徳島県立近代美術館講座室(3階)／申込不要、参加無料

○こども鑑賞クラブ

11月9日(土)午後2時～2時45分／展覧会場／小学生対象／申込不要、参加無料(保護者は要観覧券)

お問い合わせ

徳島県立近代美術館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園内

phone:088-668-1088

<http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/>

【広報用画像の提供について】

展覧会の広報用として、次の作品の画像を提供できます。必要な場合はご連絡ください。

提供方法は、画像データで提供します。

使用に当たって、作者名、作品名、所蔵者名を必ず表示してください。

原鵬雲<気球図>幕末～明治頃 紙本淡彩
徳島市立徳島城博物館



守住貫魚<画稿貼り込み A(亜墨利翰人肖像)>(部分) 1856(安政 3)年 紙本彩色 徳島県立博物館



井上辨次郎<素描(シンバルを持つサルティス)>1876(明治 9)年 木炭、紙 徳島県立文書館(寄託資料)



守住勇魚<新橋停車場風景> 1876-78 (明治 9-10)年頃 水彩、紙 徳島県立近代美術館

